

授業マイスター研修（小学校）

授業マイスター（小学校） 笹原小学校 主幹教諭 林 美幸 担当指導主事：塩家 崇生

キーワード：授業づくり 授業展開 主体的、対話的で深い学び 板書の工夫 導入とふりかえり

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
1月30日（木）	笹原小学校 林 美幸 主幹教諭	笹原小学校 授業公開	「円と正多角形（第5学年）」

2 主な内容

「円と正多角形（第5学年）」

(1) 本時の目標

辺の長さがすべて等しく、角の大きさもすべて等しい多角形を正多角形ということを理解することができる。

(2) 学習活動について

① 導入

【多角形のくじ引きをする】

・多角形とは直線で囲まれた形のことであることを想起させる。

② 展開

【「当たり」の多角形の共通点を探る】

・既習図形である正三角形や正方形を「当たり」の多角形として入れることで共通点を探るヒントとさせる。

【別の多角形で考えを深める】

・「ひし形」を提示することで、正多角形の理解を深める。

③ まとめ

【「当たり」の多角形の特徴をまとめる】

・ペア活動を通して、多角形の特徴をとらえる。
・正多角形の定義をおさえた後、その他の多角形の名称を確認させる。

④ 振り返り

【適用問題に取り組み、本時の理解度を評価する】



3 成果と課題

(1) 成果

- ①くじ引き形式を取り入れたことで児童の意欲が高まった。
- ②ひし形を提示することで児童の考えに差異が生じ、正多角形の理解を深めることができた。
- ③適用問題で理解度を個別評価することで、正八角形の理由をさらに考えて書くことができた。

(2) 課題

- ①ひし形の角度の調べ方を発表する時に、他の児童も確認しやすいように書画カメラで映して見せた方がよかった。
- ②適用問題の個別評価を T 2 の教師とともにすると、多数の児童の個別評価がスムーズにできたと思われる。